

DXの現実と理想

求められる
ソフトウェア開発

ジェネクス・ジャパン
株式会社

松本 右





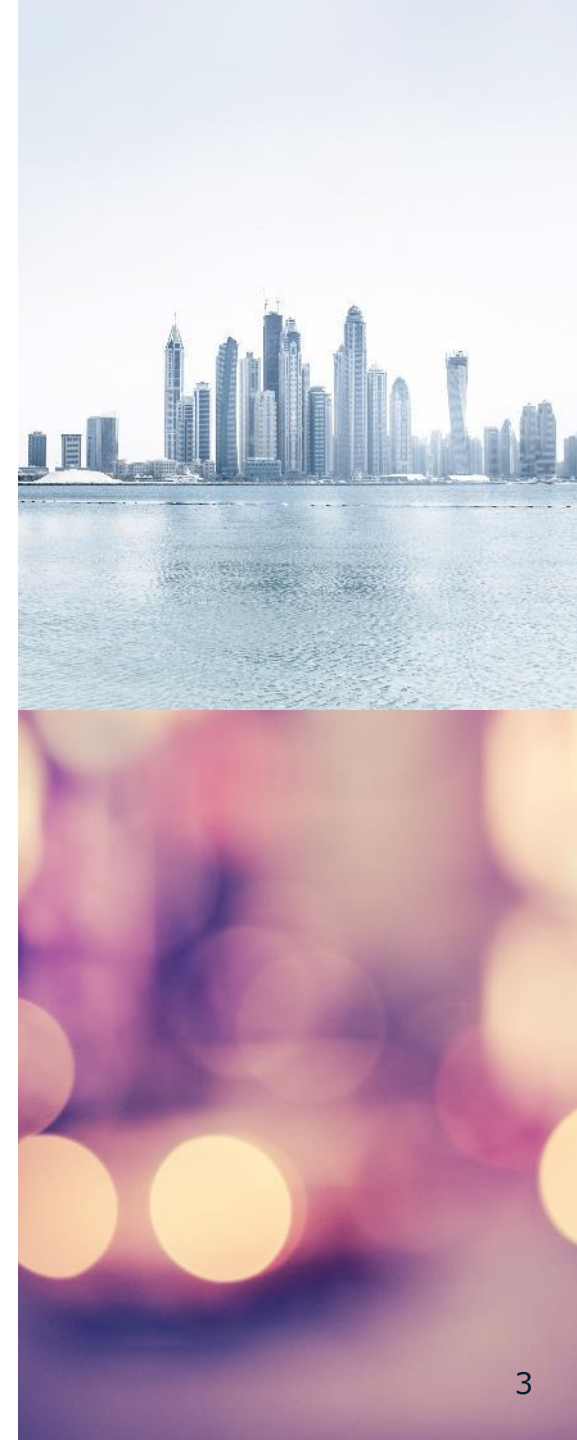
はじめに

経済産業省より、DXレポートが発表されたのが平成30年。それから時を経て昨年末に、DXレポート2が中間報告として発表されました。

今回のセミナーではこのレポートを基に、デジタルトランスフォーメーションの現在の市場の状況と、そこから見えてくる理想を改めて皆さんと確認してみたいと思います。

トピック

- ・ デジタルトランスフォーメーション（DX）の現在
- ・ デジタルトランスフォーメーション（DX）の理想
- ・ ローコード開発ツール「GeneXus」の活用方法



デジタルトランス フォーメーション (DX) の現在



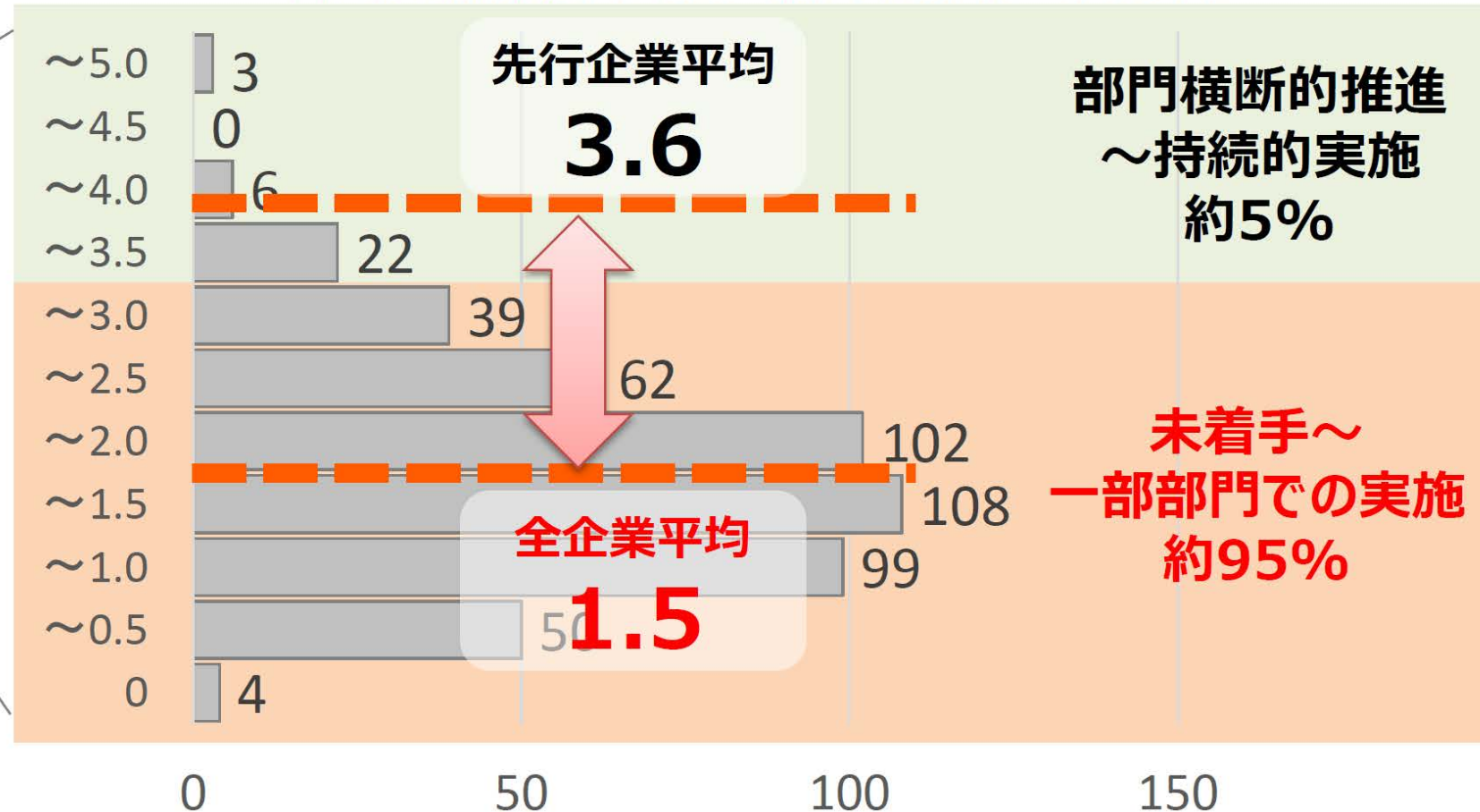
DXの現在

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）がDX推進指標の自己診断結果を収集し、2020年10月時点での回答企業約500社におけるDX推進への取組状況を分析した結果、実に全体の9割以上の企業がDXにまったく取り組めていない（DX未着手企業）レベルか、散発的な実施に留まっている（DX途上企業）状況であることが明らかになった。

「DX＝レガシーシステム刷新」、あるいは、現時点で競争優位性が確保できていればこれ以上のDXは不要である、等の本質ではない解釈が是となっていた。

DX推進指標自己診断結果の分析レポートより

自己診断結果提出企業の“現在”全項目平均値の分布

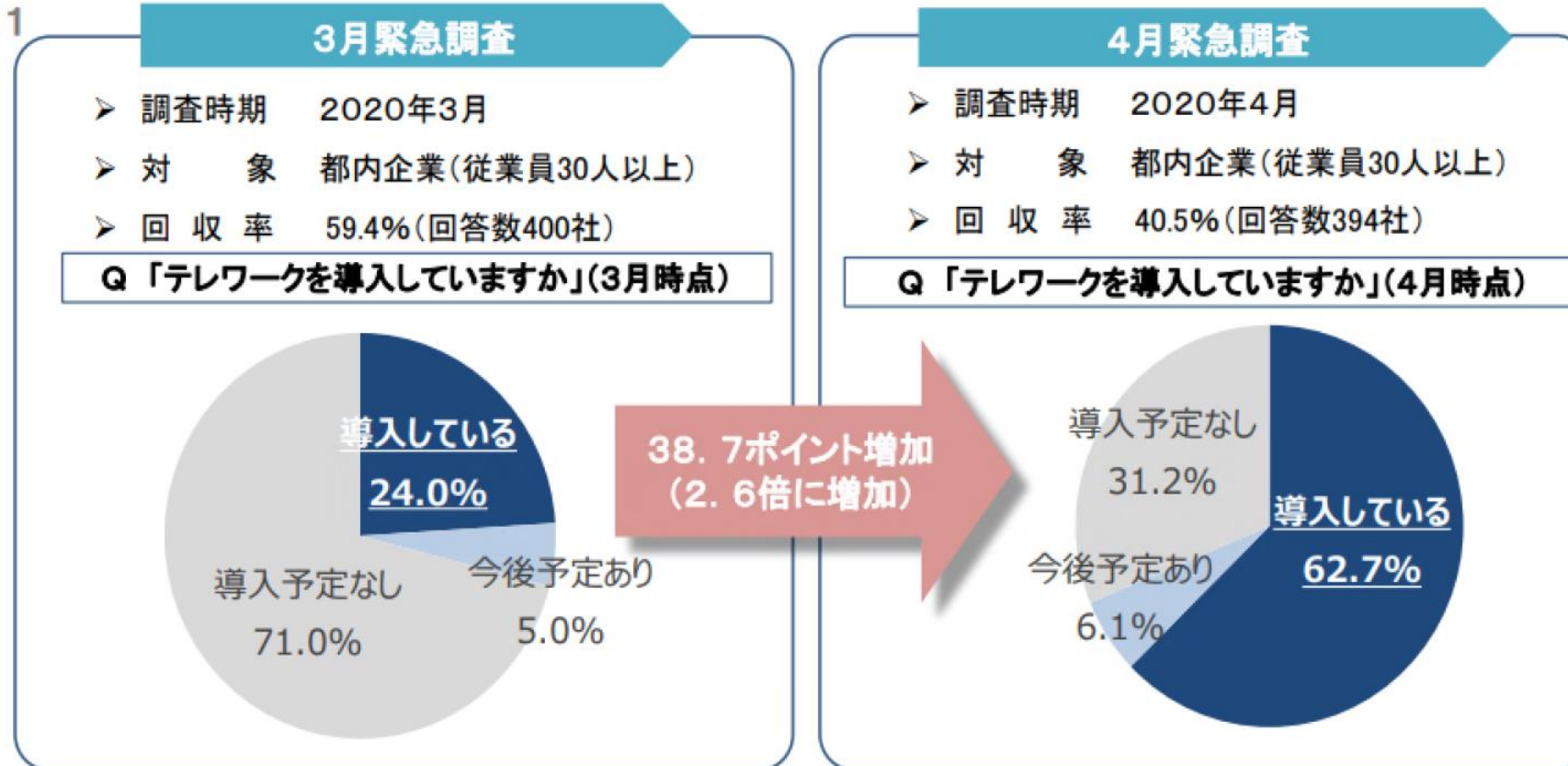


水面下には診断結果を
提出していない多数の企業

変化に迅速に適応し続けること、その中ではITシステムのみならず
企業文化(固定観念)を変革することがDXの本質であり、
企業の目指すべき方向性

都内企業(従業員30人以上)のテレワーク導入率は、3月時点と比較して大幅に増加

図1



DXの定義

「DX推進指標とそのガイダンス」より

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

コロナ禍により 表出したこと

- ✓ コロナ禍は一過性の特殊事象**ではなく**常に起こりうる事業環境の変化
- ✓ これまでは疑問を持たなかった企業文化の変革に踏み込むことができたかが対応の成否を分けた

企業の 目指すべき方向性

企業が競争上の優位性を確立するには、常に変化する顧客・社会の課題をとらえ、**「素早く」変革「し続ける」能力を身に付ける**こと、その中では**ITシステムのみならず企業文化(固定観念)を変革する**ことが重要

デジタルトランス フォーメーション (DX) の理想



産業変革のさらなる加速

変化対応力の高いITシステム構築を構築するために

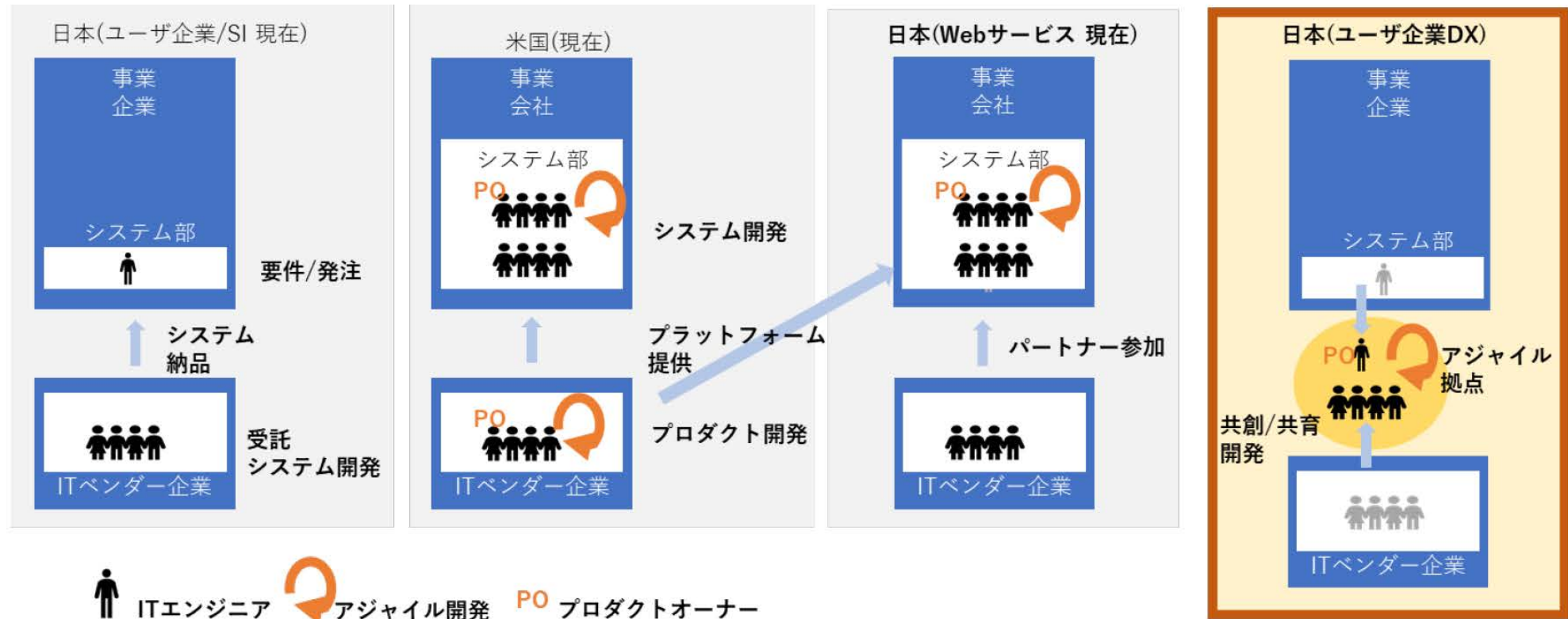
- ソフトウェア開発における従来のような受発注には、本質的な困難さがあると考えられる。**迅速に仮説・検証を繰り返す必要があるSoEの領域における大規模ソフトウェア開発には、これまでの受発注形態では対応が困難な可能性が高い**
- 競争領域を担うITシステムの構築においては、**仮説・検証を俊敏に実施するため、アジャイルな開発体制を社内に構築し、市場の変化をとらえながら小規模な開発を繰り返すべき**

デジタルプラットフォームの形成

- 自社の強みとは関係の薄い協調領域とビジネスの強みである競争領域を識別するとともに、協調領域におけるIT投資を効率化・抑制し、生み出した投資余力を競争領域へと割り当てていくことが必要
- 企業は協調領域については、**自前主義を排し、経営トップのリーダーシップの下、業務プロセスの標準化を進めることでSaaSやパッケージソフトウェアを活用し、貴重なIT投資の予算や従事する人材の投入を抑制すべきである**
- **IT投資の効果を高めるために、業界内の他社と協調領域を形成して共通プラットフォーム化することも検討すべき**
- 共通プラットフォームによって生み出される個社を超えたつながりは、**社会課題の迅速な解決と、新たな価値の提供を可能とするため、デジタル社会の重要な基盤となる**

ユーザー企業とベンダー企業との新たな関係

- ベンダー企業はユーザー企業との**対等なパートナーシップ**を体現できる拠点において、**ユーザー企業とアジャイルの考え方を共有しながらチームの能力を育て（共育）、内製開発を協力して実践する（共創）**べき。同時に、パートナーシップの中で、ユーザー企業の事業を深く理解し、新たなビジネスモデルとともに検討するビジネスパートナーへと関係を深化させていくべき



- 企業がDXの具体的なアクションを設計できるように、DXを3つの異なる段階に分解する

デジタルトランスフォーメーション

(Digital Transformation)

組織横断/全体の業務・製造プロセスのデジタル化、
“顧客起点の価値創出”のための事業やビジネスモデルの変革

デジタライゼーション

(Digitalization)

個別の業務・製造プロセスのデジタル化

デジタイゼーション

(Digitization)

アナログ・物理データのデジタルデータ化

DX人材の確保

DX人材の確保

- 構想力を持ち、明確なビジョンを描き、自ら組織をけん引し、実行することができるような人材が求められる
- DXの推進においては、企業が市場に対して提案する価値を現実のITシステムへと落とし込む技術者の役割が極めて重要である。同時に、技術者のスキルの陳腐化は、DXの足かせとなることもある
- 継続的かつ頻繁にスキルをアップデート（リスキリング）する場をいかに提供していくか

A photograph of a modern building with a glass facade, showing multiple floors and balconies. The image is partially obscured by a white diagonal shape that serves as a background for the text.

#GX29

*"ALL COMPANIES KNOW
THAT THEY NEED TO START
WITH THEIR DIGITAL
TRANSFORMATION, BUT
THEY DON'T KNOW HOW TO
DO IT."*

Nicolás Jodal
September 2019



Software that makes software

Create, adapt, and evolve faster.

Higher productivity,
Higher flexibility in teams,
Agile, incremental approach,
Easier to learn,
Future-proof.



ありがとうございました

ジェネクス・ジャパン株式会社

技術サポート部

松本 右

matsumoto@genexus.jp